

# 淡路支部ニュース

2013.9.25  
No.296

兵庫県保険医協会淡路支部  
〒656-0051 洲本市物部  
3-3-44 松本産婦人科内  
TEL 0799-2210073

## 高齡者負担増は中止を

安倍政権が表明している、70歳から74歳の医療費窓口負担現行1割から2割への負担増に対し、協会には負担増中止のための会員FAX署名に取り組んでいる。署名では、「2割に引き上げられれば、高齢者の受診抑制をもたらし、重症化をまねく恐れ」があると警鐘をならしている。負担増中止とともに、「技術料を中心に診療報酬を大幅に引き上げること」も求めている。まだ返信されていない先生は、ぜひご協力いただきたい。

《署名に記された淡路支部会員からの一言》

- ◆ 歯科は2割になりますと受診抑制を一番受けやすいです。なんとか現状維持でお願いいたします。
- ◆ 現下の厳しい経済状況のなかでは、受診抑制が起こっています。医療費窓口負担ゼロこそが求められます。患者負担増はもつての外です。
- ◆ 診療報酬の大幅引き上げをお願いします。
- ◆ 当院では患者個々に10〜20分ほどの問診・診察・説明を初再診に係らず行っています。患者もそれを期待して、待ち時間が長くなるとも来院して下さいます。結果的に1時間あたり4〜6人ほどの診察スピードとなっています。初再診(特に再診料)の点数設定を再考していただきたい。

## Let's...

鈍足台風18号も、淡路には格別のことなくよかったですね。種々の教訓も残して...

「想定外」が今年の流行語大賞になるのでは? 8-9月、本当にいろいろのことがありました。順不同で。

竜巻なんて、日本で起こるとは想定外(死者ゼロだったのは?)。天気の変動も激しく、一方では四万十市の41度(8月12日)の新記録。秋田や島根では豪雨。桜島が大噴火も上空5千米メートルの新記録。負けじとイブシロンの打ち上げ。打ち上げと言えば、

花火大会の事故という悲しいエピソードはなければよかったですね。スポーツニュースのトップ

はもちろん、2020の東京オリンピック。その他、イチローの通算4千本安打(最近、打率が悪いのはトシのせ

い?)。楽天田中将太の連勝記録と、バレンティンの本塁打は記録更新続行中。夏の高校野球も初出場が初優勝。そして一日休日が入ったり一日も雨降らず(雨や地方校の勝ち残り)は主催者や阪神電車との収入の話はまた後日)...

アベノミクス、消費税増税問題、尖閣諸島からインド洋にかけての中国、東南アジア問題。日口の問題、シリアの問題がネグレクトされかけるのは?(私にはイスラムのことは全くわからない)

台風18号の日、NHKが予定番組を全部キャンセルしたのはご立派? その間に大川ミサヲ様の最高齢115歳もありました。

サテ、台風一過、秋の青空と共に朝夕と昼間の気温差が大きくなりました。体にご留意。

夏季・お盆休みのニュースなどお聞かせください。

【9月17日 松本記】

## 研究会感想文

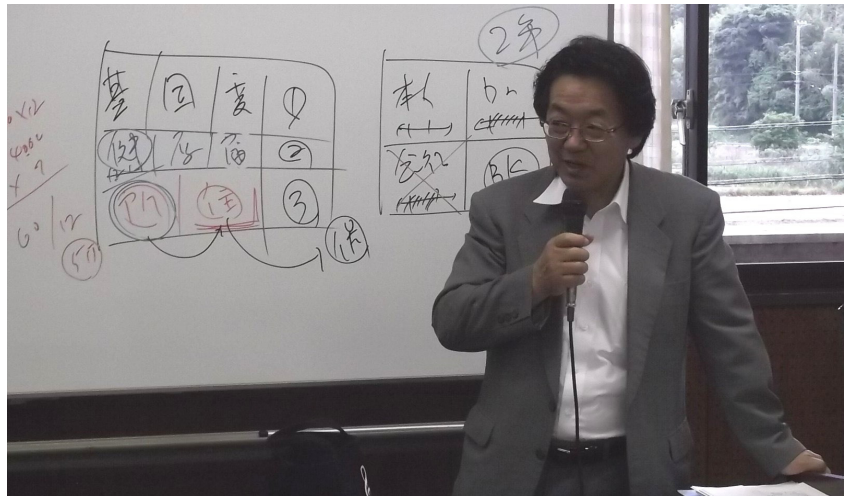
# 患者負担軽減のために 医療機関ができること

淡路市 栗田 哲司

6月1日、神戸女子大学講師の阿江善春先生に「医療機関で知っておきたい医療・福祉・介護の役立つ制度」と題して講演していただきました。20人が参加しました。30年間の医療ソーシャルワーカーの経験を生かし、兵庫県社会保障推進協議会で各

自治体の制度改善の取り組みもされてきた先生のお話は、具体的に分かりやすかったです。

世の中知らないと損をするということが多いけれども、医療・福祉・介護の分野でも



神戸女子大学講師の阿江善春先生がわかりやすく講演した

今まで身体障害や特定疾患の申請等はしていましたが、例えば「介護保険で要介護者の人は税金の障害者控除を受けられる」「重度の介護を必要とする在宅の人に介護費用の負担を軽減するために月額2万6620円の特別障害者手当が支給される」「請求漏れの多い障害者年金」などの話は初耳で

同じでした。特に慢性の病気を抱えて働けなくなった人や年金生活のお年寄りにとっては、生活の質や生死にかかわります。

忙しい医師にとつて書き慣れない申請書類を作成するのは大変です。しかし、できるだけ利用できる制度は活用するべきでしょう。

また、医療機関での一部負担金の支払いが困難なために受診を控えたり、障害があるのに在宅で必要な介護サービスが受けられない人がいます。そういう人たちに対して、申請すれば保険料や一部負担金、介護サービス利用料が軽減されるなどの制度について気軽に相談を受け、的確にアドバイスできる人が各地域の自治体や医療機関に必要だと感じました。



額医療機器の共同利用で投資を抑え

メデイキャスト株式会社  
メディプラザ大阪マネー  
ジャーの石原正規氏に、「診療所のIT化をどうするか」をテーマに総会記念講演をしていただいた。

診療所を取り巻く環境の変化では、インフォームドコンセントの重要性、情報化インフラ整備、地域医療連携ネットワークをキー・ワードに上げ、今後は医療情報を外部に置くクラウドサービスが増えていくとのこと。

特に、診療所にとって地域医療ネットワークへの参加は、①紹介患者の経過がリアルタイムで理解できる、②高額医療機器の共同利用で投資を抑えられる、③地域連携に参加していることが患者満足につながる、などのメリットがある。

医療現場におけるiPadなどのモバイル端末の利用については、60歳以上の医師ではスマートフォンを上手に扱っており、操作性、軽量性、価格などのメリットが影響している。

外来業務におけるモバイル端末の活用として、問診端末、診療サポート端末、検査入力・指示確認端末の他、往診端末などがあげられる。

これからの電子カルテには、クラウドサービスの活用とモバイル端末の活用が欠かせなくなる。電子カルテ選定のポイントは、①操作性、②機能、③サポート、④実績、⑤価格である。

## 減点事例や算定方法などご相談ください

納得のいかない減点事例や、レセプトの記載、算定方法など、保険請求に関するご相談を受け付けています。困ったことがあれば、悩まずすぐにご連絡を。



お問い合わせは、Tel 078-393-1803  
兵庫県保険医協会まで

## 投稿を募集しています!!

支部ニュースへの投稿を募集しています。日常の診療にかかわることや主張など、テーマは問いません。地域色豊かな話題を淡路の会員の先生方で交流したいと思います。医科・歯科連携のアイデアなど、お寄せください。



【FAX】 078-393-1802

【E-mail】 kusunoki@doc-net.or.jp

淡路支部担当 楠(くすのき)まで

歯科社保・審査、指導対策 淡路歯科会員懇談会

# 減点事例など意見交換



12人が参加し有意義な懇談会となった(7月20日、洲本市内)

協会歯科部会は7月20日に洲本市文化体育館で、淡路支部の歯科会員を対象とした「歯科社保・審査、指導対策 淡路歯科会員懇談会」を開

催、12人が参加した。

同懇談会は、縦覧・突合点検など審査強化の現状のなかで、審査や指導について会員への情報提供と相談の場を設けるため、協会歯科部会が県下各地域を回っているもので、平時会う機会の少ない歯科会員との貴重な意見交換の場となっている。淡路は但馬支部に続く2回目の開催。

懇談会では、縦覧点検など審査強化の実態や歯周病治療の保険請求上の留意点などについて、歯科部会の谷端美香先生(芦屋市)と坂口智計先生(須磨区)が講師として話題提供した。

参加者には、実際の減点通知を持参し具体的に相談を持ちかえる会員も見られ、参加者相互で活発に意見交換した。

## 投稿を募集しています!!

支部ニュースへの投稿を募集しています。日常の診療にかかわることや主張など、テーマは問いません。地域色豊かな話題を淡路の会員の先生方で交流したいと思います。医科・歯科連携のアイデアなど、お寄せください。

【FAX】 078-393-1802

【E-mail】 kusunoki@doc-net.or.jp

淡路支部担当 楠(くすのき)まで

